

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 嵐山ホテル計画	階数	地上2F,地下1F
建設地	京都市右京区	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域, 指定なし	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 0.0	評価の実施日	2018年3月30日
敷地面積	3,205.39 m ²	作成者	安田アトリエ
建築面積	1,128.56 m ²	確認日	2018年3月30日
延床面積	2,996.05 m ²	確認者	安田アトリエ



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 品格と礼のあるホテルを目指します。 京都の風致地区区域内に建つ敷地条件を生かしながら自然を感じることができ、 周辺の文化施設を活性化し連携した宿泊施設となるよう計画します。		
Q1 室内環境 客室内について床埋込配管に通水して床面輻射冷暖房とします。 外部に面するガラス内側でのコールドドラフトを防ぐため、実際の床より調和外気を低速で吹出します。	Q2 サービス性能 客室面積を50㎡程度とし、全客室がスイートとなるよう計画します。 また運営に対応できるよう各設備の耐久性、更新世など配慮します。	Q3 室外環境(敷地内) 前面道路に面する南棟は屋根の高さをなるべく低く抑え周辺の街並と調和のとれた計画となるよう配慮します。 屋根を分棟形状とすることで建物全体が大きすぎる印象とならないよう配慮します。
LR1 エネルギー 主たる客室はコンクリート造とし断熱性能および遮音性能を確保します。 また井水利用、雨水利用といった自然エネルギーの利用により環境負荷を軽減した計画とします。	LR2 資源・マテリアル 雨水利用による自然エネルギー利用により環境負荷を軽減した計画とします。 客室種構造をコンクリート造とすることで耐久性を確保します。	LR3 敷地外環境 井水利用を採用することで室外機をできるだけ少なくし周辺への騒音の低減に配慮します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される